

研究会のまとめと提言

2024年3月15日

アクセシビリティ研究会主査

山田肇

2023年度調査研究

- 「社会保障改革とヘルスケアデータの円滑な流通と利活用」
 - ヘルスケア分野でのデジタルテクノロジー活用等について調査する
 - 特に、ヘルスケアデータの円滑な流通と利活用に焦点をあて課題解決に向けた道筋を提示する
- 研究会メンバ
 - 山田 肇 東洋大学
 - 川添高志 ケアプロ株式会社
 - 榊原直樹 清泉女学院大学
 - 下野僚子 早稲田大学
 - 関根千佳 株式会社ユーディット
 - 千田一嘉 金城学院大学
 - 藤方景子 湘南ふじさわシニアネット
 - 遊間和子 国際社会経済研究所

報告書の構成と公開

1. まとめと提言
2. わが国におけるデジタルヘルス分野の動向
3. ヘルスケアデータの共有・活用が可能な社会への変革
 - オープンデータと学術研究／ポリファーマシーの解消／医療情報を身近に／非接触によるバイタルデータ収集／AIの活用／国際標準化／障害者差別解消法の合理的配慮
4. ヘルスケアデータの円滑な共有と活用に関する先進事例
 - 臼杵市「うすき石仏ねっと」／「actibit」／介護の質／介護施設での技術活用
5. 海外におけるヘルスケアデータの連携と活用
 - 国際社会経済研究所サイトで2024年4月に公開

提言

ヘルスケアデータの一次利用

1. 健康保険制度間でのヘルスケアデータの連結を直ちに進める
2. 国民一人ひとりがPHRを利用して適切な医療を受けられるように、民間にすべてを委ねるのではなく公的なPHR利用サービスも拡充する
3. 予防活動等には、本人の同意のもとで、PHRサービスを民間が展開できるようにする

ヘルスケアデータの二次利用（公衆衛生研究）

4. 厳格な倫理審査を前提として、NDBと他のデータベースとのデータ連結による魅力的なデータセット、データ提供までの時間短縮やオンライン解析の提供など、利用環境の整備を行うことで、公衆衛生研究等での利用価値を高める
5. 介護分野では、公的データと介護現場で取得されるより詳細なデータを組み合わせることで、介護の質に関わる知見が創出される
6. ヘルスケアに関わる具体的な施策検討等のEBPMを進めるため、地方公共団体に自由度を与えて実践する
7. ヘルスケアデータの一次利用と、公衆衛生研究目的の二次利用は切り離されるものではなく、両者が連携できる仕組みを作る

ヘルスケアデータの二次利用（新治療法・創薬等）

8. 個人情報安全管理のため、組織的、人的、物理的、技術的な安全管理措置が取られていることについて、国民の理解を増進する啓発活動を展開する
9. ヘルスケアデータの二次利用の内容について詳細に情報公開し、透明性を高める
10. ヘルスケアデータの二次利用について、国民一人ひとりが自らの判断でオプトアウトを選択できるオンラインシステムを構築する
11. ヘルスケア分野での信頼のできるAIの構築を進めるとともに、先行的な活用を支援する